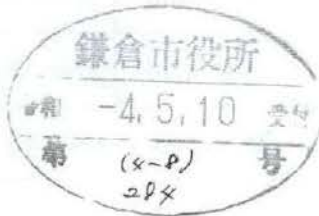


景観配慮協議申出書

令和4年 5月 10日

(宛先) 鎌倉市長

住所 [REDACTED]
 届出者 氏名 井口 純一郎 [REDACTED]
 電話 [REDACTED]
 住所 東京都品川区北品川 1-16-8・3F
 代理人 氏名 株式会社インターセクト
 代表取締役 横川大昭 [REDACTED]
 電話 03 (5495) 7802



[法人その他の団体にあつては、その主たる事務所の所在地、名称及び代表者氏名を記入してください。]

次のとおり申し出ます。

土地利用類型 の 名 称	丘陵住宅地		
景 観 地 区	<input type="checkbox"/> 内 () <input checked="" type="checkbox"/> 外		
設 計 者	住 所	東京都品川区北品川1-16-8・3F	
	氏 名	株式会社インターセクト 代表取締役 横川大昭	電話 03 (5495) 7802
行 為 の 場 所	地 名 地 番	鎌倉市鎌倉市七里ガ浜東二丁目2365番18	
	用 途 地 域	第1種低層住居専用地域	防火地域 <input type="checkbox"/> 防火 <input type="checkbox"/> 準防火 <input checked="" type="checkbox"/> 指定なし
	そ の 他	<input checked="" type="checkbox"/> 風致地区 <input type="checkbox"/> 歴史的風土保存区域 <input type="checkbox"/> その他 ()	
行 為 の 種 類	建 築 物	<input type="checkbox"/> 新築 <input checked="" type="checkbox"/> 増築 <input type="checkbox"/> 改築 <input type="checkbox"/> 移転	
	開 発	<input type="checkbox"/> 土地の区画の変更 <input type="checkbox"/> 土地の形質の変更	
特 定 地 区	<input type="checkbox"/> 内 (<input type="checkbox"/> 由比ガ浜 <input type="checkbox"/> 由比ガ浜中央 <input type="checkbox"/> 鎌倉芸術館周辺地区) <input checked="" type="checkbox"/> 外		
行 為 の 期 間	着手予定	令和4年 6月10日	完了予定 令和5年 6月10日

(裏)

建築物の概要	用途	戸建ての住宅			
	最高の高さ	7.740m	階数	地上 2 階 地下 1 階	
	構造	鉄筋コンクリート造			
	敷地面積	581.45 m ²			
	建築面積	108.16m ²	届出以外の部分	124.36m ²	合計 232.52m ²
	延べ面積	337.93m ²	届出以外の部分	306.31m ²	合計 644.24m ²
	屋上に設置する建築設備の種類及び高さ	<input type="checkbox"/> 高架水槽 m <input checked="" type="checkbox"/> その他 (太陽光パネル) 0.9m			
概要	色彩の変更部分とその面積		面積 m ²		
	仕上材	屋根	色彩	屋根	5Y 6/0.5 (マンセル値) 5G 6/2 (マンセル値) 経年劣化
		外壁		外壁	5 YR8/1 (マンセル値)
開発行為の概要	開発区域の面積		m ²		
	行為の目的	分割 (区画) (最小区画面積 m ²) その他 ()			
	行為の内容	切土 (m ³) 盛土 (m ³) その他 ()			

(注) 1 仕上材欄には、表面仕上の材料をできるだけ詳しく記入してください。

(例：日本瓦、波型スレート、小口タイル等)

2 色彩欄には、マンセル表色系を記入してください。

3 この届出書には、景観配慮に関する見解書及び鎌倉市都市景観条例施行規則別表第1に掲げる図書を添付してください。

景観配慮に関する見解書

1. 共通事項

行為計画地周辺の景観の特徴（景観的特性、景観資源等）をつかみ、記入する。

着 眼 点	計 画 地 周 辺 の 現 況 等 記 入 欄
地 域 的 特 徴	背景の山並みと海への眺望。
まち並みの連続性	周辺環境と調和し、整然と区画された緑豊かな住宅街。
周辺建物のデザイン	道路から引きを取った、落ち着いた上品なデザイン。
眺 望 景 観	山並みの遠景と丘陵地がもたらす海へと続く眺望。
景 観 資 源	優れた眺望を生かす生垣と上質なデザインの建物や擁壁。

2. 建築物の建築

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
配 置	◎	道路からの引きを取った配置とし駐車スペースも周囲から直接は見えないようにしている。
形 態 意 匠	◎	既存家屋のデザインを踏襲して現状の街並みを継承するものとしている。
色 彩	◎	外壁、屋根とも彩度を押えた色彩としている。（既存家屋を踏襲）
建 築 設 備	○	エアコン屋外機やボイラーなどは道路からは見えない位置に配置。
外 構 緑 化	◎	道路側擁壁には二丁掛けタイルを採用し、引きの空間には植栽を多く計画した。

3. 開発行為

1で整理した内容、土地利用類型別の方針及び基準を踏まえ計画し、各項目の自己評価を行い、配慮した事項を記入する。

項 目	自 己 評 価	配 慮 事 項 記 入 欄
造 成		
擁 壁		
敷き際・緑化		